

リスクマネジメントセミナー

報告書

国立赤城青少年交流の家では、1月16日(土)～17日(日)に1泊2日の日程で、教育事業「リスクマネジメントセミナー」を開催しました。

アウトドア活動や自然体験活動を取り巻く社会の状況は、様々なリスクに対応した安全な活動を実施することが強く求められています。昨年に引き続き自然体験活動に関わる全国約300団体から構成されるNPO法人自然体験活動推進協議会(CONE)と連携協働し、リスクマネジメントセミナーを開催しました。

今年は、リスクマネジメントセミナーをディレクターコースとマネージャーコースに分けて実施しました。

リスクマネジメントセミナーではまず、活動現場や事業体それぞれの領域で必要とされるリスクマネジメントの全体像を理解し、そのうえで活動内容に応じた安全管理の方法を学びました。

<研修の様子>

1 リスクマネジメントディレクターコース

リスクマネジメントディレクターとは、活動現場における安全管理者です。組織・団体の管理責任者である「リスクマネージャー」と連携し、スタッフのトレーニングや安全確認などを行います。終了後は、実施報告(事故報告書)や、「ヒヤリハット」事例をまとめ、現場責任者の立場でリスクマネージャーと次の事業実施に向けた安全対策を考えます。

参加者が安心安全に事業に参加できるよう、またスタッフが不安なく参加者を迎えらるるよう、良い現場の雰囲気を作ることが役割となります。現場責任者の立場で安全対策を担える人材として必要不可欠な知識や技術の修得を図り、リスクマネジメント意識の向上と共に安全指導や救助技術の向上を目指しました。



1月16日（土）

12：30～ 開講式 オリエンテーション

13：00～ リスクマネジメント概論

講師：小林 孝之助 氏

14：00～ 活動におけるリスクマネジメント

講師：剣持 雅信 氏

15：30～ 事故事例の研究

講師：高瀬 宏樹 氏

19：00～ ヒューマンエラー

講師：三好 利和 氏

20：00～ 情報交換会

1月17日（日）

9：00～ 緊急事態への対応

講師：町頭 隆児 氏

10：30～ 安全管理体制

講師：高瀬 宏樹 氏

11：30～ アクションプランと検定

講師：小林 孝之助 氏

12：30～ ふりかえり

講師：小林 孝之助 氏

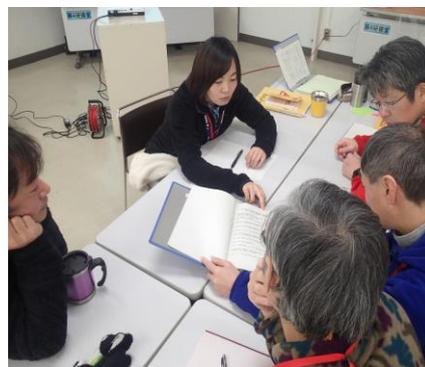
13：00 閉講式

2 リスクマネジャーコース

リスクマネジャーとは、組織運営における安全管理者です。

組織全般の安全管理者として様々なリスクを予測すると共に、事故発生時において組織としての対応や事故防止等を策定し、安全安心な自然体験活動を実践します。

団体や組織におけるリスクを予測し、重大事故発生への対応や防止策を学び、安全の推進及び提案を行う組織全般の安全に関する管理者（リスクマネジャー）を養成します。事業展開はもとより、組織全体の管理責任者として活動現場の「リスクマネジメントディレクター」と連携し、日頃から組織内の情報共有やスタッフ間のコミュニケーションを図る努力をします。



1月16日（土）

10：30～ 開講式 オリエンテーション

11：00～ リスクマネジメント概論Ⅱ

講師：小林 孝之助 氏

13:00～	リスクの究明	講師：三好 利和 氏
14:30～	事故事例の研究－Ⅱ	講師：町頭 隆児 氏
16:15～	ヒューマンエラー	講師：三好 利和 氏
18:45～	保険	講師：町頭 隆児 氏
20:00～	情報交換会	
1月17日（日）		
9:00～	緊急事態への対応－Ⅱ	講師：三好 利和 氏
10:30～	安全管理体制－Ⅱ	講師：町頭 隆児 氏
13:00～	アクションプランと検定－Ⅱ	講師：三好 利和 氏
14:00～	ふりかえり	講師：三好 利和 氏
14:30～	閉講式	

リスクマネジメントディレクターコースでは27人が参加しました。初日はリスクマネジメントの概論から始まり、活動におけるリスク、事故事例の研究、ヒューマンエラーについて学びました。2日目は緊急事態への対応、安全管理体制などを学びました。

講義だけでなく、ワークショップなども入れ、参加者同士が意見を出し合い、まとめて発表する活動もありました。参加者同士の交流も深まり、お互いの施設の現状なども話すこともあり、それぞれのリスクマネジメントの意識が高まりました。

参加者からは「ヒューマンエラーの言葉が強く印象に残った。事故を全くなくすることができないが、減らしても生じたとしても損害や悪影響を少なくする取り組みが安全管理だと思いました。」また、ヒヤリハットを個人で出してグループでシェアしたこと。「それよくある。」と過去にあったヒヤリハットをすぐ思い出せていない事実がよくわかりました。などがあげられました。

リスクマネジャーコースではディレクターの資格を所有する6人が参加しました。組織運営における安全管理者という観点での講習が始まりました。

特に、緊急事態への対応では、模擬記者会見を行いました。過去の新聞記事で自然体験活動中に死亡事故があった例を取り上げ、その運営団体役と記者役に分かれ本番さながらのやりとりがありました。このような事故が起こり得るかもしれないことと起きた場合の対応が必要だと思いました。

参加者からは「リスクは必ずある」という言葉が印象的でした。当たり前のことですがなくなならない。そのリスクに対して常に対策をしていかなければならないし見えないリスクに対しても対策しなければならないことを学びました。

リスクマネジメントは、一度話を聞けばできるというものではありません。参加者が現場に持ち帰り、このような意識を持って、指導者が学び合い、安全管理についての認識を新たにすきっかけになると良いと思います。

担当 根本

